

スピーカー：大阪ガス企画部 IR 部長 福原 康德

大阪ガスの IR 部長の福原です。

本日は、お忙しいところ、当社の 2026 年 3 月期第 1 四半期決算の説明会にご参加いただきありがとうございます。

また、平素は当社事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

それではただ今より、2026 年 3 月期第 1 四半期決算について、

当社ホームページで開示しておりますプレゼンテーション資料に沿って、説明させていただきます。

3 ページをご覧ください。

#### ■ P3 26.3 期 第 1 四半期決算のポイント

- ・ 3 ページは、26 年 3 月期第 1 四半期決算のポイントです。
- ・ 売上高は、前年並みの 4,709 億円となりました。
- ・ 経常利益は、タイムラグ差益の拡大などにより、前年に比べて+156 億円増益の 593 億円となりました。
- ・ 親会社株主に帰属する当期純利益は、前年に比べて+177 億円増益の 485 億円となりました。

#### ■ P4 26.3 期 第 1 四半期決算の対前年比較(経常利益)

- ・ 4 ページでは、経常利益の前年との差異理由をセグメント別に分解して、ご説明します。
- ・ 【国内エネルギー事業】は、タイムラグ差益の拡大や JLC と比較した当社長期契約 LNG の競争力向上などで、+136 億円の増益となりました。
- ・ 【海外エネルギー事業】は、米国フリーポート LNG プロジェクトの増益や、米国上流事業のサビン社の増益などで、+89 億円の増益となりました。
- ・ 【ライフ&ビジネス ソリューション事業】は、概ね前年並みとなっています。
- ・ 「その他」については、セグメント調整額及び営業外損益で▲63 億円の減益となりました。
- ・ なお、ライフ&ビジネス ソリューション事業内訳の記載について、今回から表記区分を「事業グループ別」に変更し、より分かりやすく整理しております。

#### ■ P5 26.3 期 見通しのポイント

- ・ 5 ページは通期見通しのポイントです。
- ・ 第 1 四半期の業績は対前年で増益となりましたが、概ね想定通りに推移しているため、通期業績予想は変更していません。
- ・ 売上高は、国内エネルギー事業でのガス販売価格の低下等により、前年に比べて▲290 億円減収の 2 兆 400 億円となる見通しです。
- ・ 経常利益は、主に、電力市場取引など前年の一過性の増益の反動や、米国の再エネ事業における利益計上先の変更などの影響により、前年に比べて▲246 億円減益の 1,650 億円となる見通しです。
- ・ 親会社株主に帰属する当期純利益は▲74 億円減益の 1,270 億円となる見通しです。

#### ■ P6 26.3 期 見通しの対前年比較(経常利益)

- ・ 6 ページでは、26 年 3 月期見通しと前年実績との経常利益の差異理由をセグメント別に分解してご説明します。
- ・ セグメント別の通期見通しも、5 月公表の業績予想から変更はありません。

- ・ 【国内エネルギー事業】は、前年の電力市場取引の増益の反動などで、▲100 億円の減益を見込んでいます。
- ・ 【海外エネルギー事業】は、油価下落に伴う豪州エリアでの減益などで、▲109 億円の減益を見込んでいます。
- ・ 【ライフ&ビジネス ソリューション事業】は、都市開発事業の好調などにより、+52 億円の増益を見込んでいます。

#### ■ P7 成長投資の実績と見通し

- ・ 7 ページは成長投資と財務健全性を示しています。
- ・ 26 年 3 月期第 1 四半期は、443 億円の成長投資を行いました。
- ・ 【国内エネルギー事業】では発電所など、  
【海外エネルギー事業】では米国上流事業の開発など、  
【ライフ&ビジネス ソリューション事業】では都市開発事業などに対して、主に投資しました。
- ・ 第 1 四半期 期末時点の財務健全性指標は、中期経営計画 2026 で示している水準「自己資本比率 45%以上、D/E 比率 0.8 以下」を確保しています。

以降は説明を割愛いたしますが、

8 ページからは、第 1 四半期実績の前年同期との比較、

14 ページからは、通期見通しと前年実績との比較

20 ページ以降に、参考情報として、収支感度、タイムラグの状況、LBS セグメントの記載変更の説明、また IR 参考資料一覧を記載しております。なお、2025 年度の統合報告書につきまして、本日、日本語版を公開しておりますので、24 ページのリンクよりご覧いただければ幸いです。

以上で、私からの説明を終わらせていただきます。

#### 注意事項：

本書に記載される情報は、将来の業績に関する見通し、計画、戦略などが含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。